

5. 公共用地先行取得事業特別会計

(1) 収支の概要について

本年度の予算現額は745,023千円であるが、前年度の予算現額と比較すると182,511千円（32.4%）増加している。

また、決算額は歳入で744,214千円（増減率32.5%）、歳出で744,214千円（増減率32.5%）となっている。

決算状況比較表

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	元	30	増 減 額	増 減 率（%）
予 算 現 額	745,023	562,512	182,511	32.4
歳 入 決 算 額	744,214	561,820	182,394	32.5
歳 出 決 算 額	744,214	561,820	182,394	32.5
歳 入 歳 出 差 引 額	0	0	0	-
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	-
実 質 収 支 額	0	0	0	-
単 年 度 収 支 額	0	0	0	-

(2) 歳入の概要について

決算額の予算現額に対する比率は99.9%で前年度と同率となっている。

また、調定額に対する比率は100.0%で前年度と同率となっている。

決算額の内訳は、繰入金275,954千円（構成比37.1%）、市債468,260千円（62.9%）となっている。

歳入状況一覧表

科目	区分	予 算 現 額		調 定 額		
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	予 算 現 額 に対する比
			%		%	%
繰入金		276,763	37.1	275,954	37.1	99.7
市債		468,260	62.9	468,260	62.9	100.0
合計		745,023	100.0	744,214	100.0	99.9

更に決算額を分析すると、歳入決算額744,214千円は前年度より182,394千円(32.5%)増加している。

その内容は、市債で189,432千円(67.9%)増加し、繰入金で7,038千円(2.5%)減少している。

(単位:千円)

収 入 済 額				不 納 欠 損 額		収 入 未 済 額	
金 額	構 成 比	予 算 現 額 に対する比	調 定 額 に 対する比率	金 額	調 定 額 に 対する比率	金 額	調 定 額 に 対する比率
	%	%	%		%		%
275,954	37.1	99.7	100.0	0	0.0	0	0.0
468,260	62.9	100.0	100.0	0	0.0	0	0.0
744,214	100.0	99.9	100.0	0	0.0	0	0.0

(3) 歳出の概要について

決算額の予算現額に対する比率は99.9%で前年度と同率となっている。

また、不用額は809千円で前年度より117千円増加しており、予算現額に対する比率は0.1%で前年度と同率となっている。

決算額の内訳は、公債費744,214千円（構成比100.0%）となっている。

歳出状況一覧表

(単位:千円)

科目	予算現額		支出済額			翌年度繰越額			不用額		
	金額	構成比	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率
公債費	745,023	100.0	744,214	100.0	99.9	0	-	0.0	809	100.0	0.1
合計	745,023	100.0	744,214	100.0	99.9	0	-	0.0	809	100.0	0.1

決算額を前年度と比較すると182,394千円（32.5%）公債費で増加している。

科目別年度比較表

（単位：千円）

科目	区分	元 年 度		30 年 度		増 減 額	増 減 率
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
			%		%		%
公 債 費		744,214	100.0	561,820	100.0	182,394	32.5
合 計		744,214	100.0	561,820	100.0	182,394	32.5

(4) むすび

当会計においては、引き続き土地の管理、起債の元利償還等を行い、できるだけ早い時期に過去の負債からの脱却を実現できるよう望むものである。